

Junack

セレナ用ワークランプ取付け要領書

この度は、Junack 製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。本書はレディストワークランプの取扱い、及び取付け作業について記載してあります。取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行って下さい。本要領書に記載されている分解方法、イラスト(画像)、及び作業方法はあくまでも一例です。車両ごとに脱着方法、取付け方法が異なりますのでお取付けの際はお車の整備書等をご確認の上車両に適した手順で作業を行って下さい。また、本書はなくさないよう大切に保管して下さい。

取付けご担当様へお願い

本書記載の内容・注意事項をよく読み正しくお使い下さい。本書に記載されていない取付け方法は行わないで下さい。また、内容・注意事項をお客様にご確認いただいた上で作業を行うようにして下さい。

お客様へお願い

本書とご購入時の販売証明書(品名や品番が記載されたレシートや領収書)は大切に保管しておいて下さい。販売証明書の提示がない場合は、保証修理・交換ができません。

安全に関する表示

この説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

警告、**注意**、**注記**、**アドバイス**のところは、とくにしっかりお読み下さい。

警告	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です	注記	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
注意	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。	アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

適合車種および適用年式

セレナ 年式 2022年12月～

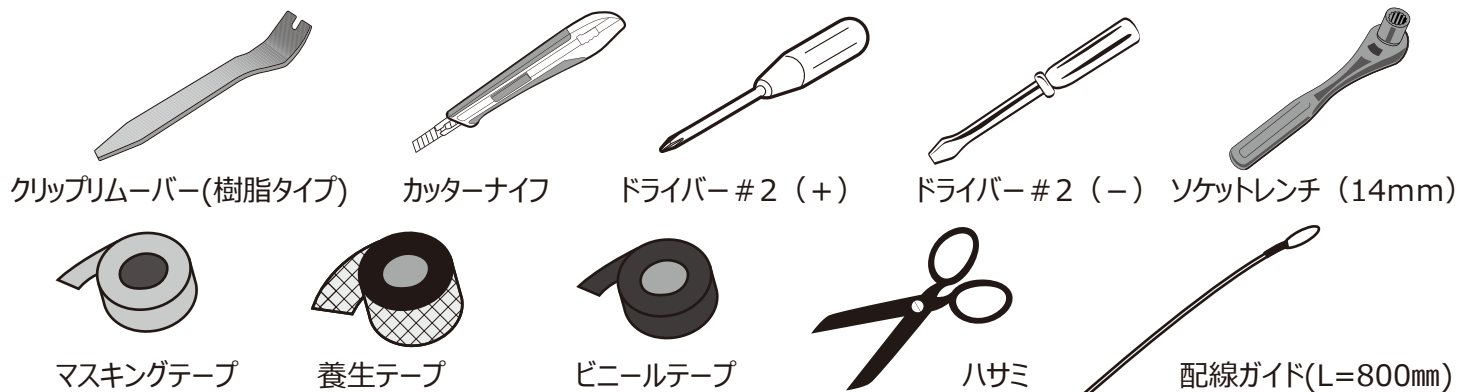
型式 C28型

構成部品

NO.	部品名称	数量
①	LWL-1011	1
②	LWL-3007	1
③	LWL-3009	1
④	灯体本体	2
⑤	クッションテープ	4
⑥	面ファスナー	2
⑦	化粧シール	2
⑧	製品保証書	1
⑨	動作説明書	1

推奨準備工具

※【内貼り固定用クリップ×3】を別途ご用意下さい



取付準備作業

1. 取付け作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
2. 取付け作業は、必ずエンジンを停止して行って下さい。
3. 取付け作業の前に、必ずバッテリーの（-）側コードを外して下さい。また（-）側コードは（+）側コードと接触しないようにして下さい。
4. 構成部品及び部品数量が取付要領書通りになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認して下さい。
5. オーディオ等の設定をメモしておく、後の調整がスムーズに行えます。

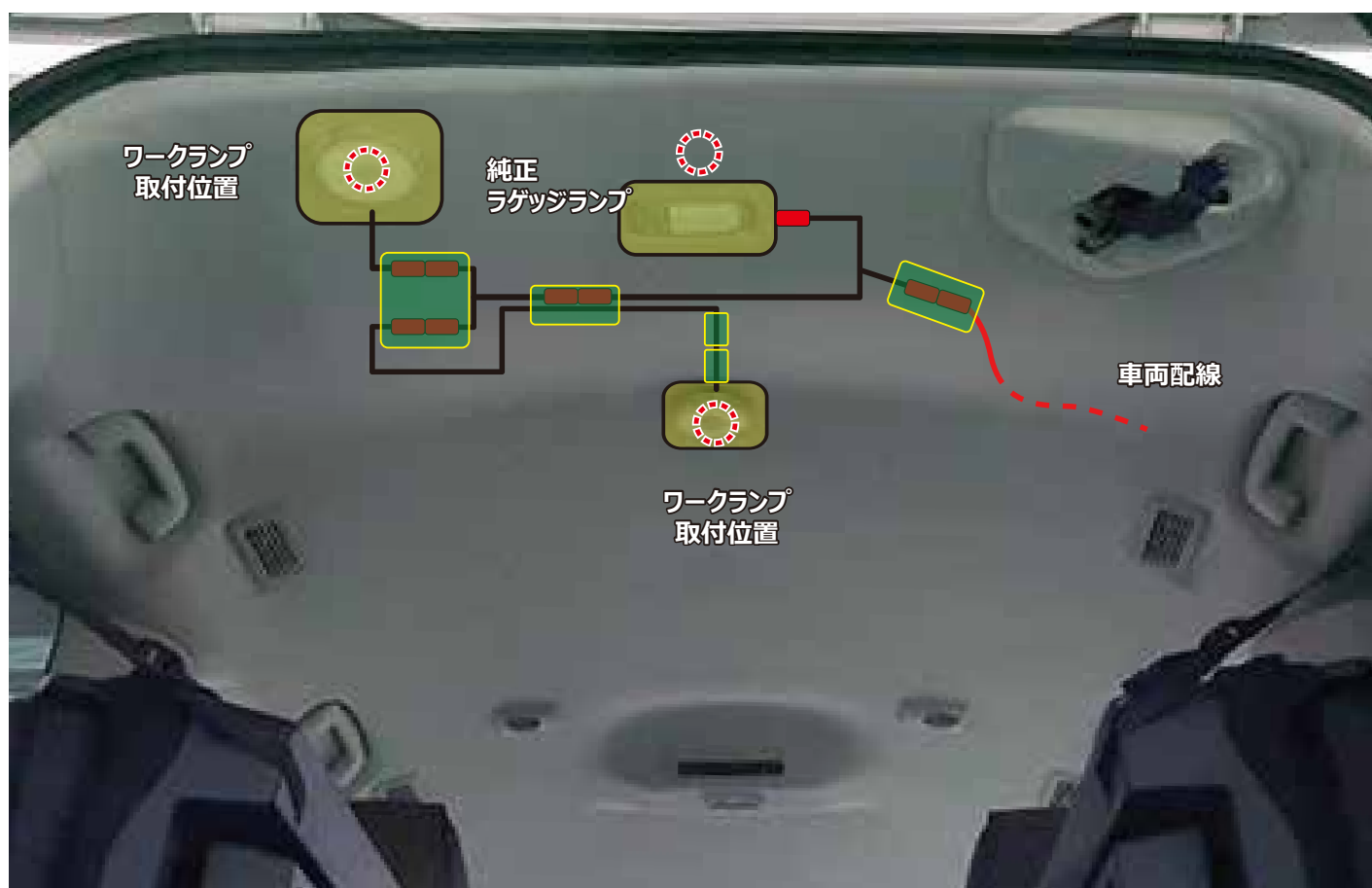
取扱い方法

本製品に付いた汚れは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、水拭きにて仕上げして下さい。
長時間放置すると、汚れが取れにくくなったり、樹脂部品の劣化の原因になります。
本製品に強い衝撃を与えないで下さい。故障や破損の原因となります。

注 記

- ・ワークランプ取付け位置については、弊社で取付け確認した位置となります。
- ・車両によってキーレスエントリー等のアンサーバック時、ルームランプと同様に点灯しますが異常ではありません。
- ・本製品はLEDのため、消灯時に車両によっては残照機能により、点滅することがありますが異常ではありません。

ワークランプ配策イメージ




 クリップ取外し位置

ワークランプ取付け手順

①クッションテープと面ファスナーをカット

画像 1 を参考に、付属の面ファスナーを半分に切り、

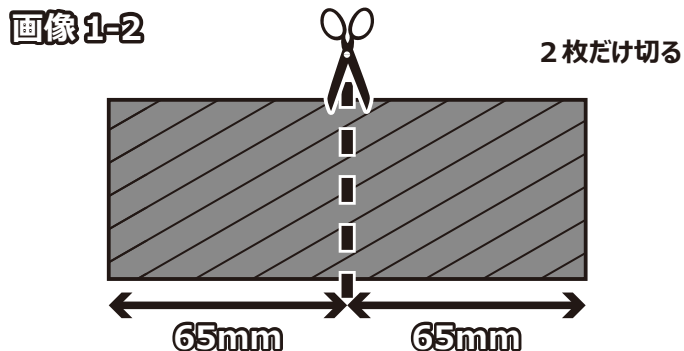
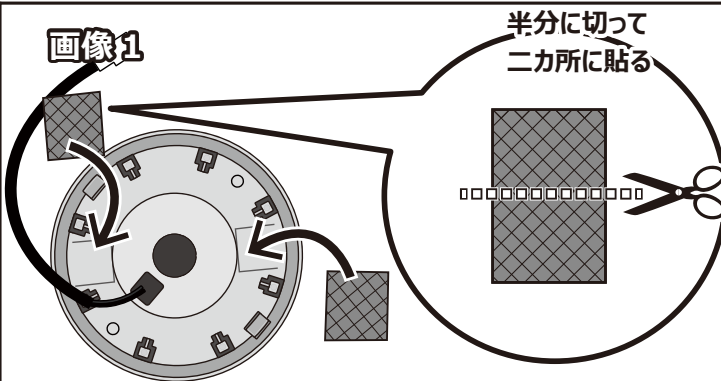
灯体本体の裏面にある  の形をしたケガキ線がある 2 か所に貼付けて下さい。

クッションテープ **2 枚** を画像 1-2 のように 2 等分する。

注 記

カットするクッションテープは 2 枚です。


4 枚すべて切らないで 下さい。



②クリップの取外し、ハーネス逃し加工

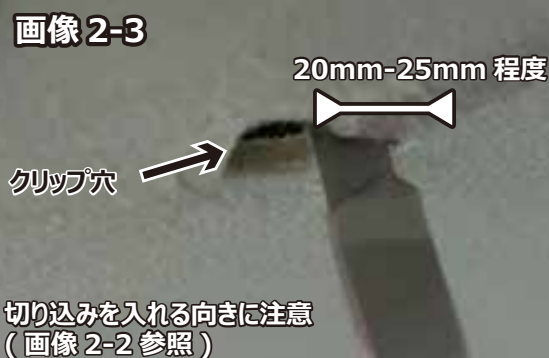
前頁の配策イメージ図を参考に 3 箇所のクリップを樹脂製のクリップリムーバー等を使用して取外して下さい。

内貼りを傷付けないよう、当て板などで保護しながら作業して下さい。

取外し後に、画像 2-2  印部分のワークランプの取付け位置にある 2 箇所の内貼りクリップ穴に、カッター等を使って「切り込み」を入れます。切り込みを入れる向きは画像 2-2 を参考にして下さい。カッターの入れ方は画像 2-3 を参考にして下さい。

× 印のクリップ穴は絶対に切らないで下さい。

この切り込みはハーネスを逃すの為なので、画像 2-3 を参考にクリップ穴より 20 ~ 25mm 程度を切して下さい。



③モール取外し

モールを外します。

モールを外す際、内貼りが汚れる懸念がある場合は画像3《黄色斜線部分》のようにモールが接している内貼り部分に養生テープ等を貼り、汚れ等が付着しないように保護して下さい。

養生テープの貼り方は画像3-2を参考にして下さい。

養生テープを貼ったら画像3-3のようにモールを外します。



画像3-2



画像3-3



④ベルトユニット取外し

画像4、サードシート天井部の○印部分のカバーを車両整備書に基づいて外します。

注記

画像4-2 ○印部分のツメで固定されているので取外す際、破損しないように注意して下さい。

画像4



画像4-2



⑤ベルトユニット取外し

画像5、○印の部品(サードシート両側)を車両整備書に基づいて外します。

画像5



⑥フック取外し

画像 6、○印部分、左右両側のフックを車両整備書に基づいて外します。

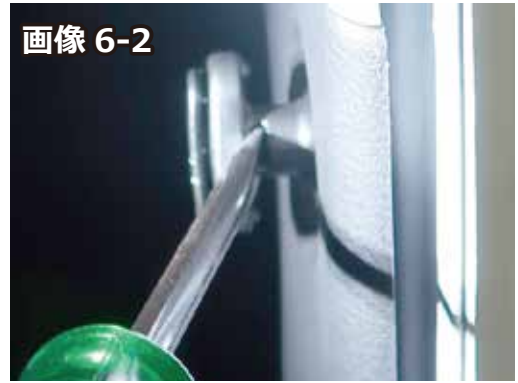
画像 6



👉 アドバイス

画像 6-2 のように、側面にあるくぼみにマイナスドライバー等を押し込むと外しやすいです。

画像 6-2



⑦リヤカバー取外し

画像 7、○印部分のカバーを車両整備書に基づいて外します。

画像 7-2、○印部分にあるクリップで固定されています。

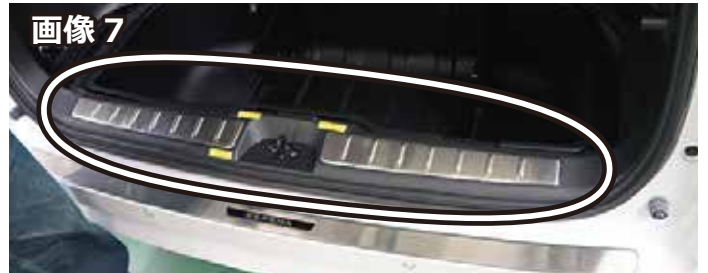
注記

画像 7-3、クリップにはリング状の黒い緩衝材が付属しています。紛失しないよう注意して下さい。

画像 7-3



画像 7



画像 7-2



画像 8



⑧内貼り取外し

画像 8 のように半分ほど下側の内貼りを手前に倒し、○印部分の上側の内貼りを外します。
左右両側外して下さい。

画像 8-2 (内貼り裏側)、○印部分にあるクリップで固定されています。

画像 8-2



⑨ラゲッジランプユニットのコネクタ外し

LWL-1011とLWL-3009を画像9のように接続します。

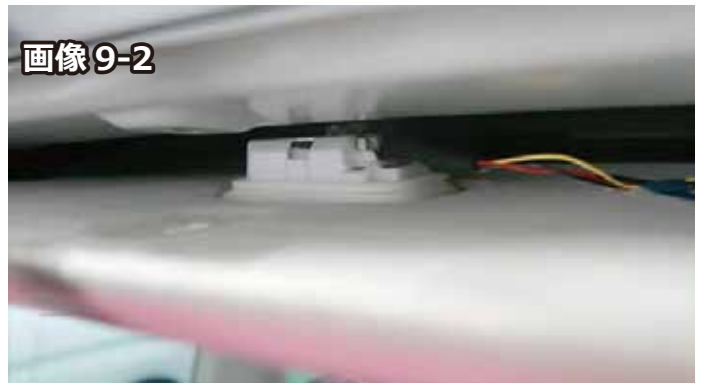
本書2P「ワークランプ配策イメージ」の
「ワークランプ配線作業位置」を参考に内貼りを下方に開き下げ、
画像9-2のラゲッジランプに差さっているコネクタを外します。

注記

内貼りを下方に下げるとき、下げすぎると
内貼りが折れて跡がついてしまうので
折れないように注意して下さい。



画像9-2



⑩ラゲッジランプユニットに配線接続

画像10のように、LWL-1011をラゲッジランプユニット
及び車両配線に接続します。

画像10



⑪灯体本体のレンズ取外し

灯体本体の裏側、画像11の○印部分を、
画像11-1のようにマイナスドライバー等で
押し込むとレンズが外れます。

画像11



画像11-1



⑫灯体本体に LWL-3007 を接続

灯体本体と LWL-3007 を接続します。

画像 12 を参考に、
コネクタ接続部分に**カットしていないクッションテープ**
を 2 枚貼ります。

👉 アドバイス

隙間ができないように、画像 12-2 を参考に
2 枚のクッションテープが離れないよう、
しっかり閉じて貼付けて下さい

画像 12



画像 12-2



⑬センターのクリップ穴に LWL-3007 を通す

手順⑫で接続した LWL-3007 に画像 13 のように配線ガイドを
外れないように養生テープなどで仮固定し、
クリップ穴に差し込みます。

画像 13-2 を参考に ○印の位置から配線通しを取り出します。

👉 アドバイス

手順⑫で貼り付けた
クッションテープが
クリップ穴を通過する際
に剥がれないよう、
画像 13-3 を参考に
丁寧に入れ込んで
下さい。

画像 13-3



画像 13



画像 13-2



灯体本体が設置個所の天井に密着できるように
反対側 (画像 13-2 ○印) から矢印方向に
LWL-3007 を引き出します。

ある程度引き出せたら、画像 13-4 を参考に、
本書 3P 画像 1-3 で入れた切込みに、
灯体本体の配線を挟み込むようにしながら、
灯体本体が設置個所の天井に密着できるところまで
引き出して下さい。

画像 13-4



⑭センターの灯体本体の仮固定

本書 7P 画像 13-4、で灯体本体を矢印方向にある程度引き込んだら、灯体本体の中心穴と内貼りの穴を合わせ、画像 14 を参考に、面ファスナーが密着するように押し付けます。

⚠ 注意

密着させる際に、切り込みに差し込んだ配線をクリップ固定部に挟み込まないようにして下さい。

基板ユニットには触れないようにして下さい。
破損の原因になります。

画像 14



⑮車両後方側の灯体本体取付け

車両後方側のワークランプ取付け位置に⑪・⑬・⑭と同手順で画像 15 を参考に、灯体本体を取付けて下さい。

👉 アドバイス

本書 3P、画像 1-3 で切り込みを入れた部分に、本書 7P 画像 13-4 と同じように配線を挟み込んだ状態で引き出して下さい。

画像 15



⑯コネクタ配線の接続

画像 16 と画像 16-2 〇印部分の LWL-3007 コネクタと灯体本体コネクタを LWL-3009 コネクタ外に接続します。

画像 16



画像 16-2



⑰コネクタ配線の収納

画像 17 ○印部分のコネクタ接続部分（3か所）に
本書 3P 手順①でカットしたクッションテープを貼り付けます。

画像 17-2 を参考に配線をビニールテープ等でまとめて、
ボディと内貼りの隙間に収めます。

配線をまとめて内貼りの中に入れて込むと
画像 17-3 のような配策になります。

注 記

内貼りと干渉しないよう画像 17-3 を参考に、コネクター、
及び配線はラゲッジランプの車両前方側でまとめて下さい。
（画像 17-3 〓線参照）

クッションテープは低吸音対策なので、
しっかりと巻きつけるように貼って処理を行って下さい。

これらの処理は必ず行って下さい。

また、ビニールテープやクッションテープが剥がれたり
抜けないようにしっかりと巻きつけて下さい。

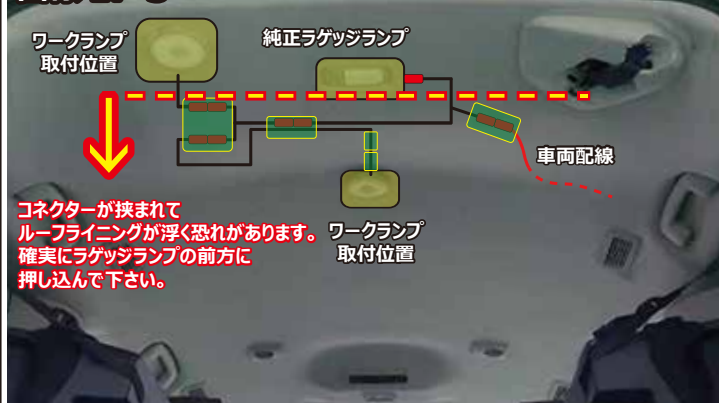
画像 17



画像 17-2



画像 17-3



⑱クリップで固定

2カ所の灯体本体をクリップで固定します。

画像 18、矢印の指し示す灯体本体の中心部分に
新品の内貼りクリップを差し込み、固定して下さい。

注意

クリップ固定の際に、切り込みに差し込んだ配線を
クリップ固定部に挟み込まないようにして下さい。

基板ユニットには触れないようにして下さい。
破損の原因になります。

画像 18



画像 19

ワークランプはルームランプに連動し点灯します。
また、レンズを軽く押すと点灯 / 消灯できます。

ルームランプ	ワークランプ
点灯	点灯 / 消灯
ドア連動	点灯 / 消灯（ルームランプ点灯時のみ）
消灯	点灯しません

⑲点灯チェックをする

灯体本体の点灯チェックをして下さい。

画像 19 の図を参考に動作確認を行って下さい。

また、車両すべての動作・機能が問題なく
動作することを確認します。

⑳ レンズを装着

2カ所の灯体本体にレンズを装着します。
画像 20 を参考に、ハウジングの切り欠きを合わせて押し込み、固定して下さい。

👉 アドバイス

この時、付属の化粧シールを貼り付けて下さい。

(画像 20-2)

文字の向きは画像 20-2 を参考にして下さい。



画像 20



㉑ 点灯チェック

灯体本体の点灯チェックをして下さい。
また、車両すべての動作・機能が問題なく動作することを確認します。

㉒ 外した部品を戻す

取外した車両部品を復元します。

👉 アドバイス

画像 22 ○部分は新しいクリップを使用して下さい。

画像 22

